

銀漢亭日録

伊藤伊那男



6月9日(水) ▼ 思い立って皇居東御苑。昨日だったか、今日からだったか、久々、開苑と聞いて。天守台の風佳し。多聞櫓で守衛さんから話を聞く。三の丸尚蔵館を見て、新装した将門塚。あまりにも明る過ぎないか？ 氣仙沼大島の菊田志尚さんから取り寄せた海鞘、抜群のうまさ！ 里芋を煮る。鰯の酢め。

11日(金) ▼ 「俳句」8月号、井上弘美句集『夜須礼』一句鑑賞。「樸」誌上講演会の準備。ここ三日ほど毎日海鞘を食べている。梅漬に紫蘇を入れる。梅雨明けに干すことに。莉子の友人三人泊。

12日(土) ▼ 宮坂静生主宰の「岳」十句選、一昨日が締切であることに気付き、送る。大蔵第二運動場にてコロナワクチン第一回目の接種。痛くも痒くもなく終わる。酒は控える。夜中に目覚めると指先に弱い電気が当たったような反応があったが、それだけ。

14日(月) ▼ 十時十五分発、新宿バスタ発、富士急ハイランドバス停へ。高部務氏、迎えに来てくれて、富士急ハイランドのレストランで昼食。パスタとコーヒー。雨。河口湖の別荘、別棟を借用。去年二回訪ねており、三回目。今回、夫人は茶道の指導で多忙の様子で不在。角川合評鼎談の下調べや「樸」誌上講演会の準備など。緑に囲まれて、鶯、郭公の声も。十八時半、「しゃぶしゃぶ はやし」に案内していただく。戻ってテラスで星空を見ながら歓談。

15日(火) ▼ 六時半、起床。快晴。テラスで朝食。高部氏の最新作(小説)のゲラ刷りを読む。俳人協会「第六十回全国俳句大会」の本選委員にて、一次選考後の千五百句ほどから最終選に入る。庭の山椒

26日(土) ▼ ここ数日、「銀漢」八月号の選句没頭。昨日、選句稿を花果、直、妙子さんに投函。このあと選評。農家の野菜買いに。モロヘイヤが始める。鮎、手に入れて山椒煮九尾。

29日(火) ▼ 「銀漢」八月号の選評全部終了。ふと思いついて西新井大師に行ってみる。初めての事。一駅だけの電車面白し。梅雨晴間。あと浅草に出て雷門横の「ときわ食堂」で小酌。鰯フライは絶品！

30日(水) ▼ 思いついて九時過出発。小田急線で小田原、JRで熱海乗り継ぎ、沼津乗換で昼に由比。東海道由比宿を歩く。「正雪紺屋」など。港に寄ったあと、薩埵峠へ向かう。庄屋の「小池邸」他あちこちに宿場の面影あり。枇杷の栽培地。十四時半頃、峠。曇天にて富士山は心に描く。下って興津宿。清見寺。JRで沼津へ戻り、「沼津グランドホテル」投宿。町を覗き、「半蔵」という店に入ってみる。太刀魚の刺身、室鰯の干物、天城鶏の刺身。ビール。酒は「白隠正宗」「磯自慢」。あと焼鳥屋で少々。

7月1日(木) ▼ 九時間ほどは寝たか。ゆつくり風呂。雨。沼津港まで歩いてみる。太刀魚の味噌干し、釜揚げしらす他を土産に。御殿場線に乗る。十四時半、帰宅。郵便物たくさん。

2日(金) ▼ 雨続く。屋内修一氏より、来年の「天宮新年会」の講師依頼を受く。「第三十回 信州伊那月俳句大会」応募句、千四百数十句、七月七日締切。NHK学園の「夏の誌上俳句大会」応募句、五千句、締切七月九日……これは大変。慶應「丘の会」誌に「コロナ禍の俳句」千字送る。

3日(土) ▼ 三子玉川の庁舎にて、二回目ワクチン接種を受ける、「信

の実を摘み、仕込み処置。午後から山雨。十九時、富士急ハイランドのレストラン。天麩羅、刺身、海鮮丼。戻ってテラスで歓談。

16日(水) ▼ 朝食後、富士山駅に送って貰う。大月経由で酒折宮、甲斐善光寺。甲府に出て甲府城跡。駅裏の「甲斐ほうとう 小作」に入り、一人打上げのビール。鶏モツ煮、「七賢」の冷酒、南瓜のほうとう！ 一時間ほどいて客一人。この「小作」にして……。中央線鈍行で寝て帰宅。

17日(木) ▼ 「NHK俳句」七月号「復活開店！『銀漢亭』」知人等へ送る。四句会ほど選句。

18日(金) ▼ 十時半、JR衣笠駅(三浦半島)、「伊那北会」。歩いて衣笠公園。ここは鎌倉時代の三浦一族の本拠地。三浦氏は結局、執権北条氏に滅ぼされる。眺望絶佳。あと、金沢文庫に出て称名寺。十年くらい前、「銀漢」で田中敬子さんの作ってくれた旗を掲げて来た記憶。今は参道の茶店もなく寂れている。金沢文庫見学。文書類ながら国宝多数。歴史的には「かねさわぶんこ」。あと、駅前で打上げ。洋風居酒屋、焼鳥屋など盛況。あれ？ 神奈川県は酒類提供自粛だったので？

19日(土) ▼ 雨。合評鼎談の準備。今日はリモート。二時間半、疲れる。

20日(日) ▼ 「銀漢」八月号の選句追い込み。舞茸と豚肉の豆鼓炒め、甘辛唐辛子とジャコ炒め。海鞘の塩辛など作る。

21日(月) ▼ 「銀漢」七月号発送日にて、久々に編集部の方々の顔を見たくて発行所へ。あと、今日から酒の提供OKになった「魚勝」へ顔を出す。少しの酒で酔う。

州伊那月俳句大会」の選終える。

5日(月) ▼ 昨日、今日とNHK学園の俳句大会の選評。これは実に力仕事。「銀漢」八月号校正武田氏へ送る。

6日(火) ▼ 「成城クリニック」へ。右目に傷。薬もらう。昼寝。夜、家族、ヴーヴクリコ、チョコレートケーキなどで誕生日の前後を祝ってくれる。

7日(水) ▼ 七十二歳の誕生日。割合、落ち着いた生活ができていることに感謝。十四時、谷中の政三さんの店「夕焼け酒場」。一斗さんと打合せ。十五時頃からばらばらと二十人位集まり、私の誕生日祝いをしてくださる。半分位がワクチン接種済みの感じ。二十時、お開き。

8日(木) ▼ 四句会ほど選評。選評。「岳」句会の七月号からベストテンの選句。

9日(金) ▼ 十四時、江東区深川江戸資料館小劇場。ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会。「天為」の内村恭子さんの誘いで、その後の小泉武夫先生の講演を聞きたくて行く。「発酵は力なり、俳句も力なり」。小泉先生のファンにて、楽しく聞く。あと神保町の「魚勝」に寄り、小酌して帰る。

10日(土) ▼ 晴れながら蒸し暑い。いづみ、展枝、井蛙さんが誕生祝いをしてくれとて、目黒雅叙園のロビーに十三時半、集合。百段階段を見る。五十年前に来た記憶あり、見事な建物。大円寺を見て中華店でビール。十六時から予約してくれていた「たつみや」。その後、行き当たりばったりで「若菜」という店。目黒の秋刀魚焼を食す。帰宅直後雷と豪雨。